

深刻な扱い手不足

市内には20軒程歯科技工所がありましたが、歯科技工士も人材不足が深



最後の細かい調整は職人技で
仕上げます



CADCAM冠の基となるハイブリッドレジンブロック



CAD/CAM冠を設計する機能



デンツプライシロナ社のセレックMC X 5で設計したCAD/CAM冠を機械で削り出します



株式会社 東歯科技工所
小樽市桜 2 丁目19番16号
TEL 54-4670
営業時間 9:00~18:00
定休日 土曜日・日曜日

進む
IT化

これまで、歯科技工士が全て手作業で製作していましたが、コンピューターで作る CADCAM 冠という白いクラウン（被せ物）が 20 年に保険適用されたことをきっかけに、ここ数年で CADCAM 冠を削りだす機械が普及し、IT 化が急速に進んでいます。

東歯科技工所では、デンチャ一（入れ歯）とクラウン（被せ物）を取り扱っており、市内で唯一、生体親和性が良く、人工関節などにも用いられるダイヤモンドに近い素材のジルコニアを使つた CADCAM 冠を製作できる機械を導入しています。

歯科技工士を雇い、院内で製作していたところが多かつたそうですが、歯科医院の数が増えたこととコストなどの面で、今では歯科技工士に外注するケースがほとんどのようです。

「ＩＴ化が進んでいることは良いことですが、最初から機械作業を学ぶ機会が増えたため、技術が未熟な人が増えています。

作業は、機械が6割程度製作するので便利ですが、そこから患者さんについた形に作り上げていかなければならぬので、熟練した技術があ

「市内だけではなく道内外でも多く仕事をさせていただいています。」
全國に顧客がいるということは、東社長のこれまでの経験と技術力の高さが裏付けされていることを物語っています。

取材を通して、一つ一つの製作物を真摯に探究し、使用する患者さんのことを見第一に考える東社長の職人魂を感じました。

「市内だけではなく道内外で
く仕事をさせていただいていま
全国に顧客がいるということ
東社長のこれまでの経験と技術
高さが裏付けされていること
語っています。

「影で皆さん の健康を守る仕事ですが、生まれ育つた小樽に少しでも貢献できるよう地域に密着した仕事をしていきたいです。」と話しています。

元気です！－会員企業ご紹介－

『健康は歯から～皆さんのがんを守る職人魂～』



株式会社 東歯科技工所

歯科技工とは

市内の歯科医院で歯科技工士として働いていた父の背中に憧れ、歯科技工士を目指して札幌歯科学院専門学校で学び、歯科技工士の免許を取得了しました。

専門学校卒業後、大学付属病院で技術を磨きました。

「歯科技工士は、職人のようなものです。一つものに対してもことん突き詰めて製作するため、日々、腕を磨くことが必要で、経験を積み重ねた今は、ものづくりの面白さと上手く仕上がった時の嬉しさを感じています。」

歯科技工とは

私たちの日常生活の中、「歯医者」という言葉はよく耳にしますが、「歯科技工」という言葉はあまり馴染みがないかもしれません。

歯科技工とは、歯が欠けたり虫歯などで失った部分を修復するための詰め物や被せ物、ブリッジなどの「歯冠修復物」、デンチャーなどの「有床義歯」（入れ歯）、歯並びを綺麗に治す「矯正装置」、人工歯根を埋め込む「インプラント」などを製作する仕事です。

いわば、歯を治療するための装置を作成するのが「歯科技工士」です。クラウン（被せ物）の色合わせは難しく、何度も素材を変えて試行錯誤することもあります。歯科技工の作業は全て細かい作業で、どれも完成品がほとんど調整なく装着された時は患者さんや歯医者さんから喜ばれます。

患者さんから直接感想を聞く機会がないので、患者さんの感想を聞くと自分の励みにもなります。」

40年ほど前までは、歯科医院が、

桜2丁目の住宅街にある株東歯科技工所は、社長の東義人さんと父・靖人さんが2000年に自宅を改築して創業、昨年法人化し、親族5人で経営しています。

現在は、義人さんが経営全般と技工や営業を担い、父・靖人さんがサポートしています。



東社長